

令和2年(2020年)6月16日  
教育庁教育総務局文化課

## 八代市「日本遺産」認定決定

文化庁から R2 年度「日本遺産」の認定結果について連絡があり、八代市が申請したストーリー（タイトル：八代を創造した石工たちの軌跡～石工の郷に息づく石造りのレガシー～）が、「日本遺産」に認定されましたのでお知らせします。

### 1 八代市日本遺産の概要

#### 1) タイトル

八代を創造した石工たちの軌跡～石工の郷に息づく石造りのレガシー～

#### 2) ストーリー（要旨）

全国で築かれた「めがね橋」の4分の1が分布する熊本。その殆どを手掛けたのは卓越した手腕を持つ八代の石工である。この「名石工」を輩出したことで八代は「石工の郷」と呼ばれている。

石工たちは、干拓事業やめがね橋架設で地域に貢献しながら技を磨き上げることで名石工へと成長した。彼らの築いた石造りの遺産の数々は、今もまちの景観や暮らしの中に息づき、訪れる人々を「石工の郷」へ誘ってくれる。

#### 3) ストーリーを構成する主要な文化財

笠松橋（市指定）他石橋群、旧群築新地甲号樋門（国指定）、岩永三五郎の墓（市指定）、女相撲（市指定）、美生地区の生姜棚田 等

計 2 4 件

### 2 認定後の展開

八代市において「八代市日本遺産活用推進協議会（仮称）」を立ち上げ、国補助を活用し、地域活性化や観光客の誘客を図っていく。

### 3 参考

- ・本年度 69 件の申請があり 21 件が認定され、計 104 件。  
日本遺産認定については、本年度をもって当面終了となる。
- ・本県では、人吉球磨（H27）、菊池川流域（H29）に続き、3 件目の認定。
- ・八代市は、令和元年度の認定を目指し、平成 30 年度に初の申請を行ったが見送りとなった。令和 2 年度の認定を目指し、再度申請を行い認定に至った。

令和2年(2020年)6月16日  
教育庁教育総務局文化課

## 人吉球磨日本遺産の構成文化財の追加認定

文化庁から「日本遺産」の認定結果について連絡があり、平成27年度に認定された人吉球磨日本遺産の構成文化財について、新たに2件が追加認定されましたので報告します。

### 人吉球磨日本遺産の概要

#### 1) タイトル

相良700年が生んだ保守と進取の文化～日本でもっとも豊かな隠れ里  
人吉球磨～(平成27年度(初年度)認定)

#### 2) 申請者

人吉球磨10市町村

#### 3) 追加した構成文化財(全2件)

人吉球磨のやきもの(上村焼・一勝地焼)

上村焼は相良長毎<sup>ながつぐ</sup>が朝鮮から連れ帰った陶工により始まったと言われる。一勝地焼は、相良氏家臣右田伝八が一勝地で原料を発見したことにより始まる。

市房杉

相良氏が領民に勧めた「お嶽さん参り」が行われる霊峰市房山の市房杉。神秘的で荘厳な景観を成している。

これにより、人吉球磨日本遺産構成文化財は計59件となる。